

## 惠信尼年表

年号	西暦	惠信 年齢	親鸞 年齢	親鸞・惠信尼関係事項	一般事項
承安三年	一一七三		一	親鸞誕生	
養和元年	一一八一		九	慈円の自坊で得道	養和の大飢饉
寿永元年	一一八二	一	一〇	惠信尼誕生	平家滅亡
文治元年	一一八五	四	一三		源頼朝、鎌倉幕府を開く
建久三年	一一九二	一一	二〇		
建仁元年	一二〇一	二六	二九	六角堂参籠。源空の門に入り、専修念仏に帰す。	
承元元年	一二〇七	二六	三五	二月上旬、承元の法難。親鸞、越後に流罪	四月、兼実歿
建暦元年	一二一一	三〇	三九	三月三日 信蓮房誕生	
建暦二年	一二一二	三一	四〇	一月一七日 流罪赦免	一月二五日、源空寂
建保二年	一二二四	三三	四二	惠信尼、下妻の夢（親鸞聖人を観音と見る） 佐貫で『三部経』千部読誦を發願し、やめる。	承久の変。後鳥羽上皇、 隠岐に流罪
承久三年	一二三一	四〇	四九		

元仁元年	一二二四	四三	五二	覚信尼誕生。『教行信証』に、当年を末法に入つて六八三年と記す。	
嘉禄三年	一二二七	四六	五五	嘉禄の法難。	法然の墓があげられる。 『選択集』焼かれる。 寛喜の大飢饉
寛喜三年	一二三一	五〇	五九	「寛喜の内省」	
天福二年	一二三四	五三	六二	この頃、京都に帰ったか？	
嘉禎元年	一二三五	五四	六三	如信誕生（父、善鸞）	
建長七年	一二五五	七四	八三	一月二〇日 親鸞、火災にあう（推定） 朝円、親鸞の絵像を書く（安城御影）	
建長八年	一二五六	七五	八四	五月二九日 善鸞義絶	
弘長二年	一二六二	八一	九〇	親鸞入滅	
弘長三年	一二六三	八二		『惠信尼消息』第一通（七月九日）	
文永五年	一二六八	八七		『惠信尼消息』第二通（九月一日）	
文永七年	一二七〇			最後の『惠信尼消息』（第一〇通）	
弘安六年	一二八三			覚如誕生 覚信尼往生（六〇歳）	